

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

2030年に向けて、全社員が一丸となり、技術力と人間力の研鑽に取組み、専門建設コンサルタントとして、最高の成果を技術と心で提供・提案し、社会資本整備の発展に貢献する

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	新卒採用及び即戦力となる中途採用の積極的な実施	2023年度 新卒2名・中途0名 →2026年度 新卒2名・中途1名
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	時間外労働時間の短縮(年間平均)	2023年度 20時間 → 2026年度19時間
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	ICTの活用による紙使用量の削減	2023年度の紙使用量 35万枚 → 2026年度 28万枚(2割削減)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	電気使用量の削減	2023年度電気使用量 4.2万Kw →2026年度 3.8万Kw(1割削減)

<パートナーシップ>

成果品を作成するにあたり、法令や規定・基準に準拠し、発注者(国・県・市町村)と地域住民との信用・信頼関係を構築するとともに、その目的を果たすため会社においても社会的倫理の遵守と働きやすい職場環境の整備を図っていく

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	人材育成(資格取得の奨励)及び即戦力となる中途採用の積極的な実施 2023年度の中途採用応募者は採用に至らなかった	勉強会開催 年30回 中途採用 年間1名以上	・勉強会開催 年30回 ・中途採用 2021年度 (7名) 2022年度 (4名) 2023年度 (なし)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	再生可能エネルギー設備(太陽光発電)の導入	2024年3月迄に導入	2022年5月導入済
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	ICTの活用による紙使用量の削減 2021年度から2023年度にかけての業務量増加に伴い目標未達成 ICTの活用はできている。データ化して見えた現状の分析を行い今後の削減に向けて検討を行う	2024年3月迄に紙使用量を2割削減 (2021年3月比)	2021年度 2割増 2022年度 2割増 2023年度 9割増

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。